

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1579 号	氏名	橋本 (濱崎) 景子
学位審査委員	主 査	中島 正洋	
	副 査	江口 晋	
	副 査	赤澤 祐子	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 癌の早期発見に寄与する十分に精度の高い普遍的腫瘍マーカーは存在しないが、血中プロガストリン (hPG80) 値は大腸癌をはじめとする多様な癌種で高値となることが欧州で報告された。本研究では、日本人の 4 癌種の同定マーカーとして、血漿 hPG80 値が有用かを検証するもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 長崎大学病院を含む 2 施設で診断された 40 人の担癌患者 (胃癌、大腸癌、膵癌、婦人科癌) と健常人 (対照群) として、担癌状態でなく、コントロール不良の慢性疾患や喫煙者でないと自己申告した 18 人の血漿を対象に、Biodena Care 社製 DxPG80 kit による Enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA) 法により hPG80 値を測定し、2 群間比較したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、担癌患者では健常人と比較して血漿 hPG80 値が高値で、特に胃癌 (早期を含む) で有意であった。ROC 曲線により血漿 hPG80 カットオフ値を設定し、胃癌患者と健常人の鑑別を行うと、感度 93.3%、特異度 83.3%で胃癌を同定できた。この結果は血漿 hPG80 値が胃癌の早期発見や治療後のフォローアップのための精度の高い腫瘍マーカーとして期待できることを示唆するものとして評価される。</p> <p>以上のように本論文は、腫瘍外科学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			